

2010 トヨタSLカートミーティング SUGOカートレースシリーズ 特別規則書

大会公示

本シリーズは「FIA国際モータースポーツ競技規則」と「国際カート規則」ならびにそれに準拠した「2010年JAF国内カート競技規則集」とその付則、ならびに2010年SLメンバーズブック記載の「2010年SLカートミーティング規則書」ならびに「2010年SLカートミーティング車両規定」と本規則書に従って開催されます。

第1章 大会開催に関する事項

第1条 競技会の名称

2010 トヨタSLカートミーティング SUGOカートレースシリーズ

第2条 競技格式・種目・クラス

クローズド	JAFカテゴリー
YAMAHAカデットオープン	FPJカデット
YAMAHAジュニア	FP3
SUGOエキスパート	FP3
YAMAHA SSオープン	FP2
YAMAHA スーパーSS	FP2

制限付	JAFカテゴリー
X30	リブレ
MAX	リブレ
PRD Avanti	リブレ
模擬レース	JAFカテゴリー
TRY模擬レース	なし

第3条 開催場所・オーガナイザー・日程について

1) 開催場所

SUGO西コース (全長 952m)

2) オーガナイザー

SSC: 菅生スポーツクラブ / (株)菅生

〒989-1394 宮城県柴田郡村田町菅生6-1

TEL 0224-83-3116 FAX 0224-83-5545

3) 日程

※別紙「資料1」を参照

第4条 大会役員

競技役員は各大会特別規則書に記載する。

第2章 競技会参加に関する事項

第5条 エントリーの受付

大会開催日の1ヶ月前より1週間前までに参加料を添えて申し込みをする事。別紙「資料1」参照

エントリー期間内に参加料が支払われない場合、延滞料として1,000円を申し受ける。

締め切り後のエントリーは如何なる理由があろうとも一切受け付けない。

参加を受理された後、参加を取り消す参加者に参加料は返還されない。

第6条 参加資格

- 1) 下記の通り、2010年に有効なJAFカードドライバーライセンスもしくは、SLメンバーズカードならびに2010年SLメンバーズブックを所持し、大会事務局へ提出できること。

クラス	JAFカートライセンス	SLメンバーズカード	SLメンバーズブック
YAMAHAカデットオープン		出場可	要提出
YAMAHAジュニア		出場可	要提出
SUGOエキスパート		出場可	要提出
YAMAHA SSオープン		出場可	要提出
YAMAHA スーパーSS		出場可	要提出
X30	出場可		
MAX	出場可		
PRD Avanti	出場可		

- 2) 満18歳未満のドライバーおよびピットクルーは親権者の承諾書を必要とする。

第7条 参加申し込み

参加申し込みは下記の①②いずれかの手法にて手続きをする事。

①オンラインエントリー

下記インターネットアドレスからの申し込み。(支払いはコンビニ決済、カード決済など)

PC <http://www.sportland-sugo.jp>

携帯 <http://www.mobign.com/~sugo>

②郵便振替

郵便振替にて入金し、受領証を所定の参加申込書へ貼付し、下記宛にFAX。

郵便振替先

口座番号 : 01720-7-110732

加入者名 : スポーツエントリー

FAX 0120-37-8434

公式練習より大会終了までに関連して起こった死亡、負傷、その他のすべての事故で参加者および指名したピット要員の受けた損害について、オーガナイザー、関係ショップや他の参加者などを非難したり、責任追及をしないことを誓約の上参加する事。

オーガナイザーは理由を明示することなく参加を拒否することが出来る。

参加料は別紙「資料1」を参照してください。

※ 日本カートランド協会(JKLA)団体損害保険加入ドライバーは参加料のみとなります。

※ **ピットエリア内で作業をする方は、必ずピットクルー登録をしてください。**

保険は「ヤマハイイベント補償制度」を使用する。 ※「SL規則書内(参考)ヤマハイイベント補償制度の概要」を参照

第3章 エンジンおよびカートに関する事項

第8条 車両規定

競技に使用するシャーシ、エンジン、タイヤ等はすべてSLカートミーティング車両規定(2010年SLメンバーズブック内)、ならびに2010年JAF国内カート競技車両規定(2010年JAF国内カート競技規則集内)に準ずるものとする。 ※別紙「資料2」を参照「X30」、「MAX」ならびに「PRD Avanti」は別紙車両規定に準ずる。 ※別紙「資料3」「資料4」「資料5」を参照

第9条 タイヤ

別紙「資料2」のクラス区分通りとする。

【抜粋】

「MAX」はMOJO規制 スリック「D2」、レイン「W2」とする。

「PRD Avanti」はブリヂストン規制 スリック「SL07」、レイン「SL94」とする。

「YAMAHAジュニア」ならびに「SUGOエキスパート」はダンロップ規制 スリック「SLFD」、レイン「SL94」とする。

第10条 タイヤ検査

タイヤについて、予告無く抜き打ち検査(硬度計による検査等)を行う場合がある。 ※タイヤソフナー使用防止対策
この場合、エントラントは必ずその指示に従わなければならない。

第11条 エンジンオイル

通常市販されているもののみとし、それ以外の添加物の使用は一切認められない。

第12条 ガソリン検査

ガソリンおよびオイルについて、予告無く抜き打ち検査(タンク内の燃料を採取する等)を行う場合がある、この場合、エントラントは必ずその指示に従わなければならない。

第13条 ゼッケンプレート及びナンバー(文字色)について

各クラスのゼッケンプレート色ならびにナンバー文字色は下記の通りとする。

クラス	ゼッケン色
YAMAHAカデットオープン	赤(白文字)
YAMAHAジュニア	青(白文字)
SUGOエキスパート	青(白文字)
YAMAHA SSオープン	赤(白文字)
YAMAHA スーパーSS	緑(白文字)

クラス	ゼッケン色
X30	赤(白文字)
MAX	黄(黒文字)
PRD Avanti	白(黒文字)

1) ゼッケンナンバー及びバックパネルはドライバーが準備すること。

2) ゼッケンは2010シリーズを通して固定ゼッケンとする。但し、各クラス2009シリーズランキング5位までの入賞者はオーガナイザー指定のゼッケンを装着することが出来る。なお、対象者が不出場の場合によるゼッケンの繰り上げは行なわない。ランキング外のゼッケンナンバーについては希望ゼッケンをオーガナイザーに申請し、先着順に決定する。申請がない場合はオーガナイザーが決定する。

参考「2010年 指定ゼッケン表」

X30

1	大河内 宗平
2	竹内 良介
3	植松 滉史
4	遠藤 拓弥
5	米森 亮祐

スーパーSS

1	菅井 厚志
2	小阪 寛幸
3	佐藤 俊治
4	植田 英雄
5	石井 佳明

YAMAHAジュニア

1	西村 拓真
2	池田 有杜
3	板垣 颯人
4	上田 和希
5	板橋 潤弥

YAMAHAカデットオープン

1	青柳 駿之介
2	染谷 拓海
3	三原 力亞
4	長澤 善輝
5	佐藤 魁

※「X30」は昨年125オープンランキングを採用致します。

※「YAMAHA SSオープン」はクラス統合のため、指定ゼッケンは設定致しません。

第14条 SL規則追記・補足・訂正

【新型ガスケットの使用ならびに現行品の加工許可】

メーカーの仕様改訂に伴い、改訂品の使用を認める。また、現行品に改訂品と同様の加工を認める。

■追記点：2010年SLメンバーズブック(35頁)に記載印刷済み

「シリンダーガスケット(7YK-11351-00)は2010年途中で改訂されます。(部品番号は同じ)現行品の内径(直径)が4mm拡大されたものに移行(代替)されますので、これに伴い、現行品の内側を2mm切除することを認めます。」

【YAMAHAカデットオープンクラスSLO認定車両の追加】

■ 下記の車両を追加認定する。

◆RK-C28 ホイルベース:950mm チューブ: 28mm リアアクスル:30mm

申請者: (株)ビレルパシフィック

◆SODI MINI 950 ホイルベース:950mm チューブ: 28mm リアアクスル:30mm

申請者: (株)スピードレーシング

◆TECNO MINI/SCOUT DMSB ホイルベース:950mm チューブ: 28mm リアアクスル:30mm

申請者: カート工業会

【TCIローターについて補足】

■ 追記点：2010年SLメンバーズブック33頁および37頁に追記

2010年SLメンバーズブック37頁に記載されており、TCIローターの項目に追加補足を致します。

7YT-85650-20及び旧型(7YT-00、01、10)については記載内容の通り適用致します。

但し、追記として7ET-85650-00(7YA/7YB型エンジンの装着品)もKT100SD/SCへの装着は認めます。

「旧々型TCIローター(7ET-85650-00)は、KT100SD/SCのみに使用可とする。

①市販状態のローター幅(厚さ)29mm、製造公差±0.5mm ②～④は7YTと同様

【ジョイントキャブレターについて補足】

■ 訂正点：2010年SLメンバーズブック33頁・37頁 ジョイントキャブレター

◆YAMAHAカデット・YAMAHAカデットオープンクラス

ヤマハ純正14.5φmmテーパージョイント装着必備(黒色:7YU-13586-09)公差±0.5mm以下とする。

◆YAMAHAジュニアクラス

ヤマハ純正19.8φmmテーパージョイント装着必備(黒色:7YA-13586-00)公差±0.5mm以下とする。

◆YAMAHAエキスパート・YAMAHA SSオープンクラス

ヤマハ純正26φmmテーパージョイント装着必備(オレンジ色:787-13586-00)公差±0.5mm以下とする。

【TIAシャシー使用クラスの外装品とタイヤ位置規定に関するSL規定変更と統一解釈について】

■ YAMAHAジュニアクラスの外装品

条項：2010年SLメンバーズブック32頁(細則表：YAMAHAジュニアクラス) 同41頁(左同) 同42頁(左同)

規定文：文章にダブリがある(41頁・42頁)

内容が食い違っている(32頁・41頁は同文だが42頁は違う)

統一解釈：

2010規則としては32頁・41頁が正しく、42頁は校正ミスによる誤記ですが、

①旧型外装品は現在販売されておらず入手困難

②新型外装品交換用ステーセットも販売中止となった

などの状況から、YAMAHAジュニアクラスの外装品規定を次の通り変更します。

規定の変更：

「メーカー純正外装品で改造、変更は禁止。ただし、旧型サイドボックスタイプはこの限りでない(改造を伴わなければ純正品以外の外装品を装着可)。また、カラーリングの変更は認められます。リアバンパーに補強部品を追加することは認められます。」

■ YAMAHAジュニア/エキスパートクラスのリアプロテクションとタイヤ位置規定

条項：2010年SLメンバーズブック41頁(YAMAHAジュニアクラス)

同43頁(YAMAHAエキスパートクラス)←※SUGOシリーズは「SUGOエキスパートクラス」に適用されます。

規定文(共通)：「後輪は、サイドボックスとリアバンパー(またはリアプロテクション)より外に出ていること。」

規定の変更：

SLは安全性向上のため全クラスにリアプロテクション装着を推奨していますが、TIAシャシーにおいては純正または

TIA用サイズのプロテクションがないため、一般市販品では大きすぎてタイヤを外に出すためにはハブがシャフトに少ししかかからず危険な場合があります。よってTIA使用クラスに限って「リアプロテクションを装着した場合は、サイドボックスより外に出ていればよい。」こととします。

その他、変更点については各自必ず「2010年SLカートミーティング規則書／車両規定」を確認すること。

第4章 競技に関する事項

第15条 競技規定

競技に関する規定はすべてSLカートミーティング規則書(2010年SLメンバーズブック内)、および2010年JAF国内カート競技規則集に準ずるものとする。

第16条 赤旗について

競技中に赤旗が提示された場合は、一旦競技を中断する。赤旗は各ポストにて提示される。

【公式練習・タイムトライアル】

全てのドライバーはただちに競技を中止し、オフィシャルから指示された場合はどの地点でも停止できる状態で徐行し、**ピットロード作業エリア**で停止すること。

コースクリアになり次第、再スタートとする。スタートはピットロードからとする。

【予選ヒート・決勝ヒート】

全てのドライバーはただちに競技を中止し、オフィシャルから指示された場合はどの地点でも停止できる状態で徐行し、**ホームストレート上左側**に停止すること。

コースクリアになり次第、再スタートとする。その際のグリッドは、赤旗提示週の2周前の順位順とし、ローリングスタート方式とする。

第17条 自動計測

オーガナイザーが用意する自動計測装置を参加者は取り付け拒否できない。

取り付けを拒否したドライバーの出走は認められない。

オーガナイザーの指定する時刻に配布を受け、指定取り付け場所に装着し、決勝レース終了後速やかに大会事務局へ返却する事。

第18条 クラス混走

各クラスの参加台数が10台に満たない場合、またはオーガナイザーが混走を指定した場合は他のクラスとの混走になる場合がある事を了承の上で参加申し込みをする事。

第19条 レースの成立

制限付クラスおよびクローズドクラス共に**参加台数5台以上で成立**とする。

第20条 データロガー設置場所

データロガー発信機の設置場所は、最終コーナーのダンロップ看板前とする。

第21条 ピットエリア

参加申込時にピットクルー登録をしていない方は、如何なる理由があろうとも**ピットエリアへの立ち入りを禁止**する。

ピットエリアへの立ち入りは下記の者が可能となる。

- | | | |
|----------------|---------------|----------------|
| 1) 参加ドライバー | 2) 登録済みピットクルー | 3) 大会役員 |
| 4) プレス(要プレス申請) | 5) 主催者スタッフ | 6) その他主催者が認めた者 |

第5章 成績および賞典に関する事項

第22条 賞典

各大会における賞典対象は下記の通りとする。

台数	3台～5台	6台～8台	9台～12台	13台～17台	18～22台	23～27台	28台以上
対象	1位まで	2位まで	3位まで	4位まで	5位まで	6位まで	7位まで

第23条 シリーズポイント

シリーズポイントはSLカートミーティング規則書 第5章 3. (P24記載)の通りとする。

本シリーズのドライバーに与えるシリーズポイントは以下の基準を適用する。

- ① シリーズ全戦のポイントが合計され、ポイントの多い順に上位とする。
- ② 同ポイントの場合は上位入賞回数の多いドライバーが上位となる。
- ③ 上記②で決定出来ない場合は最終戦の順位で決定する。
- ④ 上記③で決定出来ない場合はポイント取得の早い順に決定する。

※ SL全国大会条件ポイントは、当シリーズ第3戦までに獲得したポイントが対象となります。

※ 「SUGOエキスパート」クラスについては、SL全国大会「YAMAHAエキスパート」クラスに出場する場合、

当シリーズ第3戦終了時点でのランキング1位のドライバーにSUGOより参加助成金が授与される。但し、全国大会に出場する場合のフレームは「TIA」となります。

第24条 シリーズ表彰

各クラスを対象に年間参加台数、成立回数などによりシリーズ戦終了後に各該当者に通知する。

シリーズ戦参戦50%以上のドライバーが対象となる。

各クラスのシリーズ成立回数が4戦以上開催の場合、シリーズ表彰の対象となる。

「YAMAHAカデットオープン」「YAMAHAジュニア」「YAMAHA SSオープン」「YAMAHA スーパーSS」の各クラスチャンピオンにはエンジン1基が授与される。

シリーズ表彰対象

延参加台数	30台以下	31～40台	41～60台	61～80台	81～100台
対象	1位まで	2位まで	3位まで	4位まで	5位まで
延参加台数	101～120台	121～140台	141～160台	161～180台	180台以上
対象	6位まで	7位まで	8位まで	9位まで	10位まで

シリーズ年間表彰は、2010年12月4日(土) ウィナーズサロン2階にて開催予定。 ※詳細は第6戦終了後発表します。

第6章 パドック使用に関する事項

第25条 パドック使用に関する注意事項

- ・パドック内は競技車両以外の留置きを禁止する。その他車両は全て第2パドックへの駐車とする。

周遊道路への路上駐車は禁止とする。

① 荷物の搬入は大会当日8:30までに行なうものとし、搬出については全競技終了以降とする。

② 大会前日も上記内容を推奨するものとする。

③ オーガナイザーが承認したチームオーナーについては車両1台をパドック内に駐車することを許可するものとする。

- ・パドック内はバイク、自転車、キックボード、ローラーブレード(スケート)等での移動を禁止する。

- ・パドック内は喫煙所を除いて禁煙とする。

- ・使用済みタイヤ、中古タイヤは必ず持ち帰るものとする。パドック内、ゴミ捨て場への廃棄を禁止する。

集積所に置ける物	紙類、ビニール類、カン、ビン、ペットボトル、廃油、砂利、小さな金属片(車両スクラップ等不可)
持ち帰って頂く物	タイヤ、フレーム、その他家電製品など、エンジン、バッテリー、その他部品

- ・使用したパドックエリアは、使用後必ず清掃していただくようご協力お願い致します。

注：その他詳細については必ず「2010年SLメンバーズブック」ならびに「2010年JAF国内カート競技規則集」にて確認してください。